

## 節電の取組についてのアンケートの結果

県では、昨年の夏及び冬に節電の取り組みをお願いしましたが、今夏も電力不足が心配され、節電をお願いすることになりました。

そのため、エネルギー利用状況や節電の取組状況についてみなさまのご意見をお伺いし、効果的で継続的な節電の取組についてとりまとめ、省エネ型ライフスタイルへの転換方策の検討や普及啓発に活用していくことを目的としてアンケート調査を実施しました。

調査時期：平成24年6月

対象者：県政モニター 358人

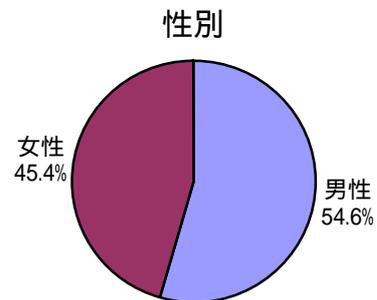
回答数：317人 (回収率 88.5%)

担当課：琵琶湖環境部温暖化対策課

四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

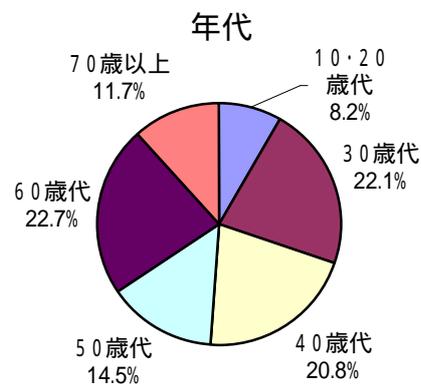
### 【回答者の性別】

項目	人数(人)	割合(%)
男性	173	54.6%
女性	144	45.4%
合計	317	100.0%



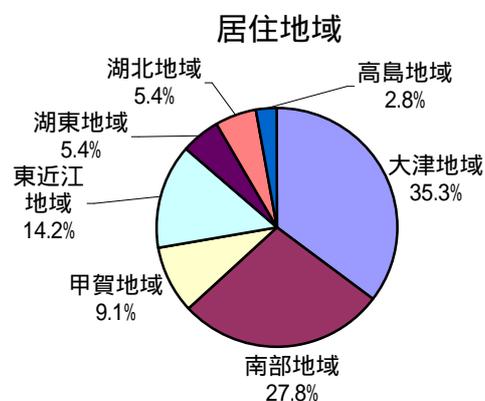
### 【回答者の年代】

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	26	8.2%
30歳代	70	22.1%
40歳代	66	20.8%
50歳代	46	14.5%
60歳代	72	22.7%
70歳以上	37	11.7%
合計	317	100.0%



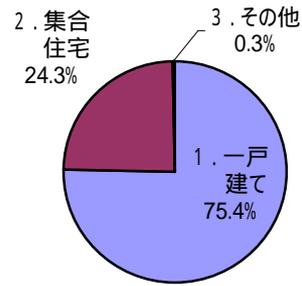
### 【回答者の居住地域】

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	112	35.3%
南部地域	88	27.8%
甲賀地域	29	9.1%
東近江地域	45	14.2%
湖東地域	17	5.4%
湖北地域	17	5.4%
高島地域	9	2.8%
合計	317	100.0%



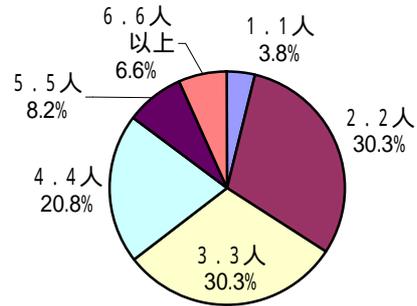
問1 あなたのお住まいはどのような形態ですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1.一戸建て	239	75.4%
2.集合住宅	77	24.3%
3.その他	1	0.3%
合計	317	100.0%



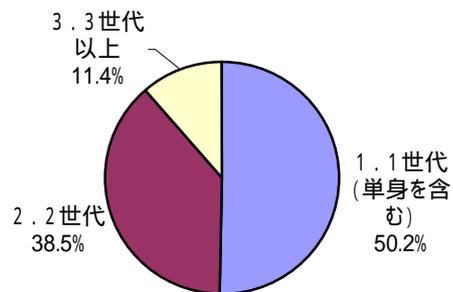
問2 あなたのご家庭の人数は何人ですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1.1人	12	3.8%
2.2人	96	30.3%
3.3人	96	30.3%
4.4人	66	20.8%
5.5人	26	8.2%
6.6人以上	21	6.6%
合計	317	100.0%



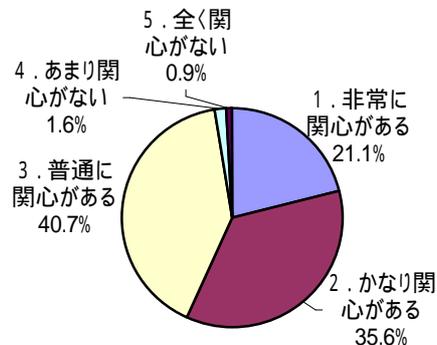
問3 あなたのご家庭は何世代ですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1.1世代(単身を含む)	159	50.2%
2.2世代	122	38.5%
3.3世代以上	36	11.4%
合計	317	100.0%



問4 あなたのご家庭の環境保全への関心度はどの程度ですか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1.非常に関心がある	67	21.1%
2.かなり関心がある	113	35.6%
3.普通に関心がある	129	40.7%
4.あまり関心がない	5	1.6%
5.全く関心がない	3	0.9%
合計	317	100.0%

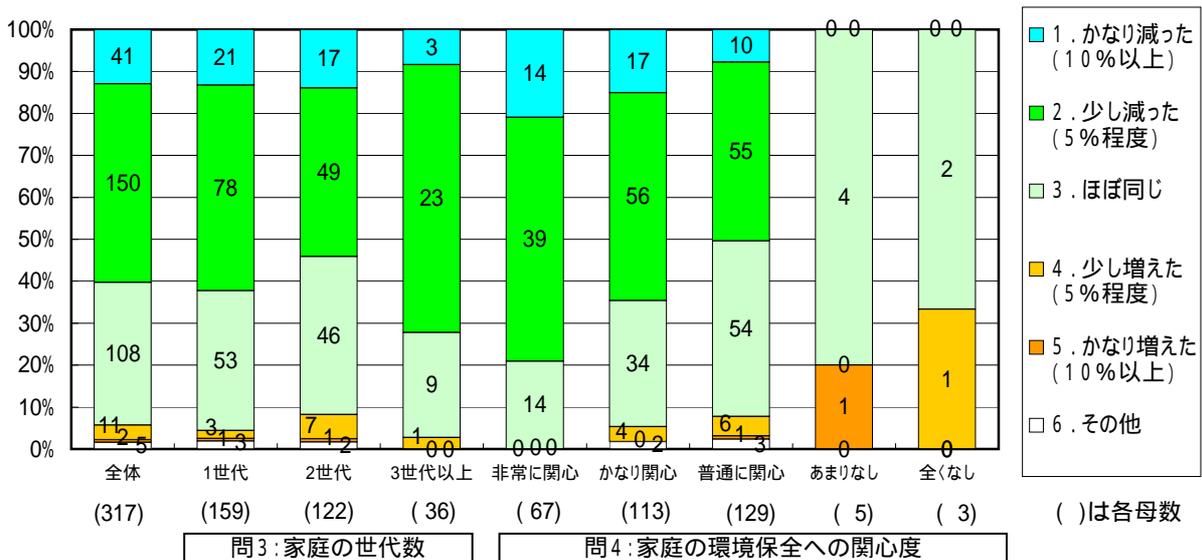
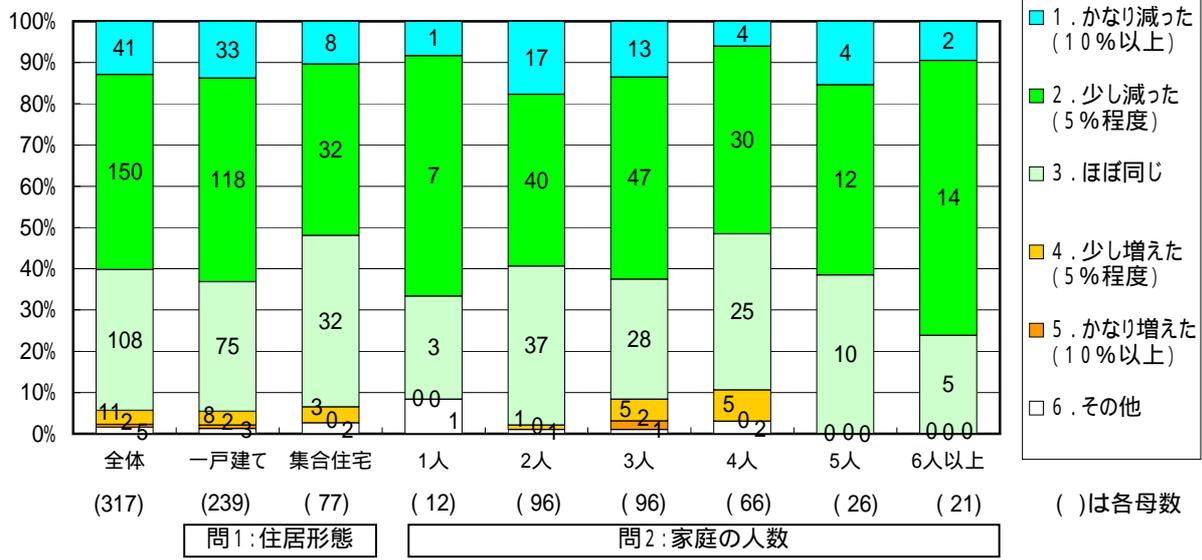


問5 一昨年の夏に比べて、昨年の夏の電気の使用量はどの程度でしたか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. かなり減った(10%以上)	41	12.9%
2. 少し減った(5%程度)	150	47.3%
3. ほぼ同じ	108	34.1%
4. 少し増えた(5%程度)	11	3.5%
5. かなり増えた(10%以上)	2	0.6%
6. その他	5	1.6%
合計	317	100.0%

転居したばかりで簡単に比較できないが減っている、社員寮のため個別に比較できない、比較していないなど

問5を問1～4の項目ごとに比較したところ、住居形態では「一戸建て」、家庭の人数では「1人」、「6人以上」、家庭の世代数では「3世代以上」、家庭の環境保全への関心度では「非常に関心がある」、「かなり関心がある」で、全体に比べて使用量が減ったという回答割合が高かった。

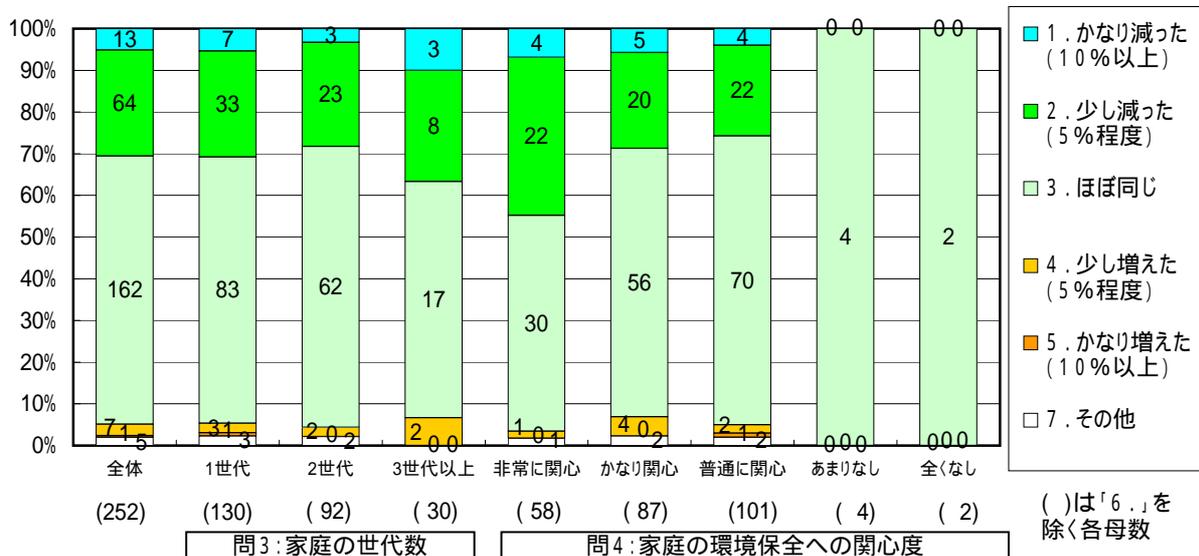
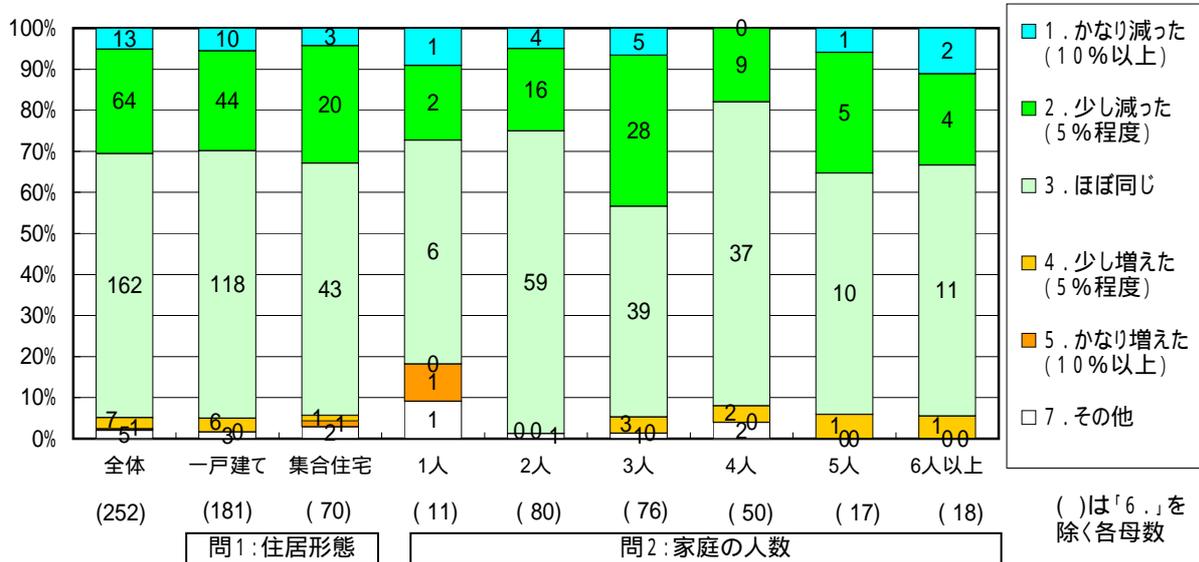


問6 一昨年の夏に比べて、昨年の夏のガスの使用量はどの程度でしたか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. かなり減った(10%以上)	13	4.1%
2. 少し減った(5%程度)	64	20.2%
3. ほぼ同じ	162	51.1%
4. 少し増えた(5%程度)	7	2.2%
5. かなり増えた(10%以上)	1	0.3%
6. ガスは使用していない(オール電化)	65	20.5%
7. その他	5	1.6%
合計	317	100.0%

転居したばかりで簡単に比較できないが減っている、社員寮のため個別に比較できない、比較していない、オール電化ではないが当地にガスは入っていないなど

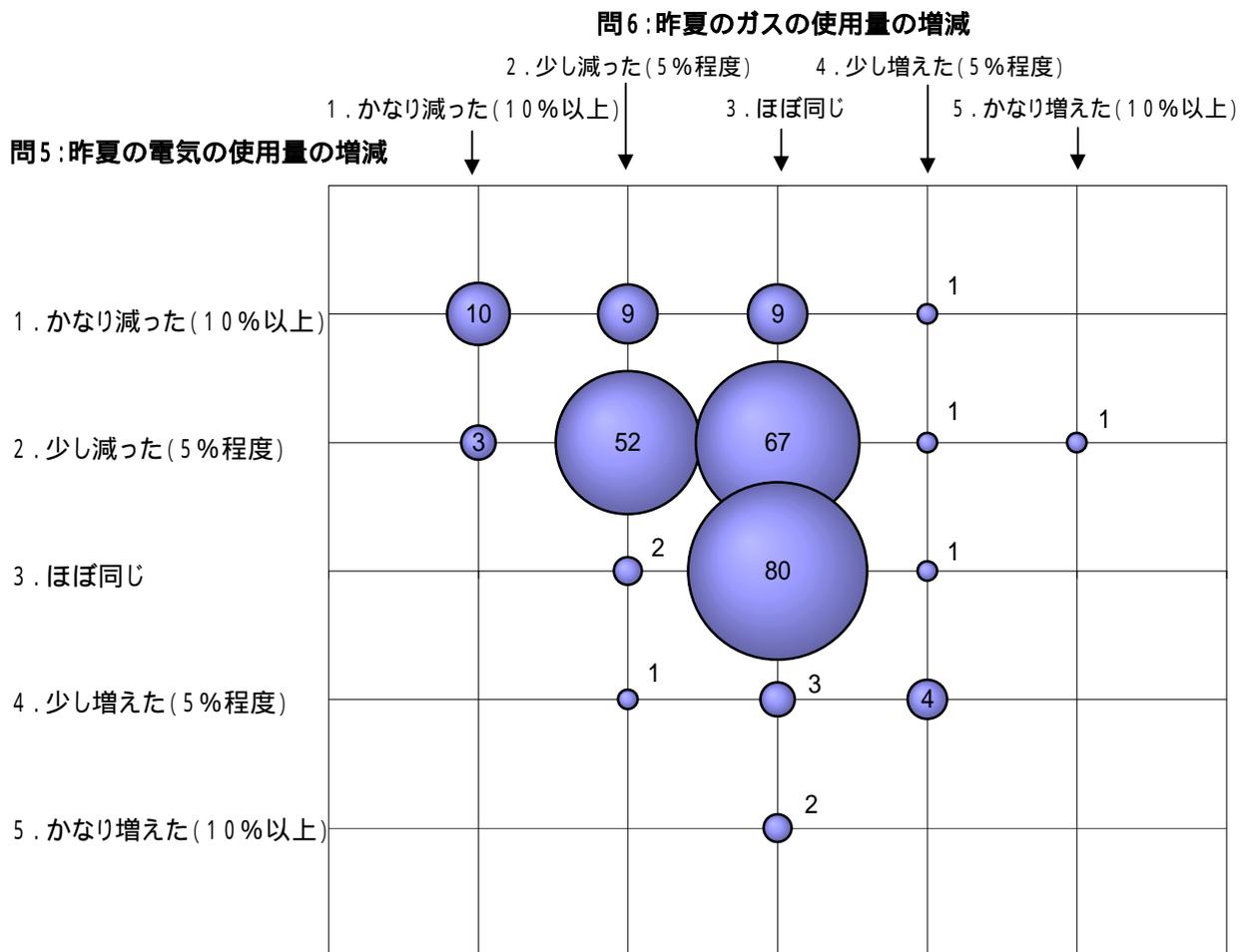
問6を問1~4の項目ごとに、「6. ガスは使用していない(オール電化)」の回答者を除き比較したところ、住居形態では「集合住宅」、家庭の人数では「3人」、「5人」、「6人以上」、家庭の世代数では「3世代以上」、家庭の環境保全への関心度では「非常に関心がある」で、全体に比べて使用量が減ったという回答割合が高かった。



また、昨夏の電気の使用量の増減(問5)とガスの使用量の増減(問6)を整理したところ、電気の使用量もガスも使用量が減っているか、電気の使用量が減ってもガスの使用量はほぼ同じであった。

(人)

一昨年の夏と比べた昨年夏の電気とガスの使用量の増減の関係		問6:ガスの使用量の増減				
		1. かなり減った(10%以上)	2. 少し減った(5%程度)	3. ほぼ同じ	4. 少し増えた(5%程度)	5. かなり増えた(10%以上)
問5:電気の使用量の増減	1. かなり減った(10%以上)	10	9	9	1	0
	2. 少し減った(5%程度)	3	52	67	1	1
	3. ほぼ同じ	0	2	80	1	0
	4. 少し増えた(5%程度)	0	1	3	4	0
	5. かなり増えた(10%以上)	0	0	2	0	0



問7 あなたのご家庭では、夏にどのような節電の取り組みが習慣になっていますか。

問8 問7の回答のうち、あなたのご家庭で、昨年の夏から始められた節電の取り組みを教えてください。

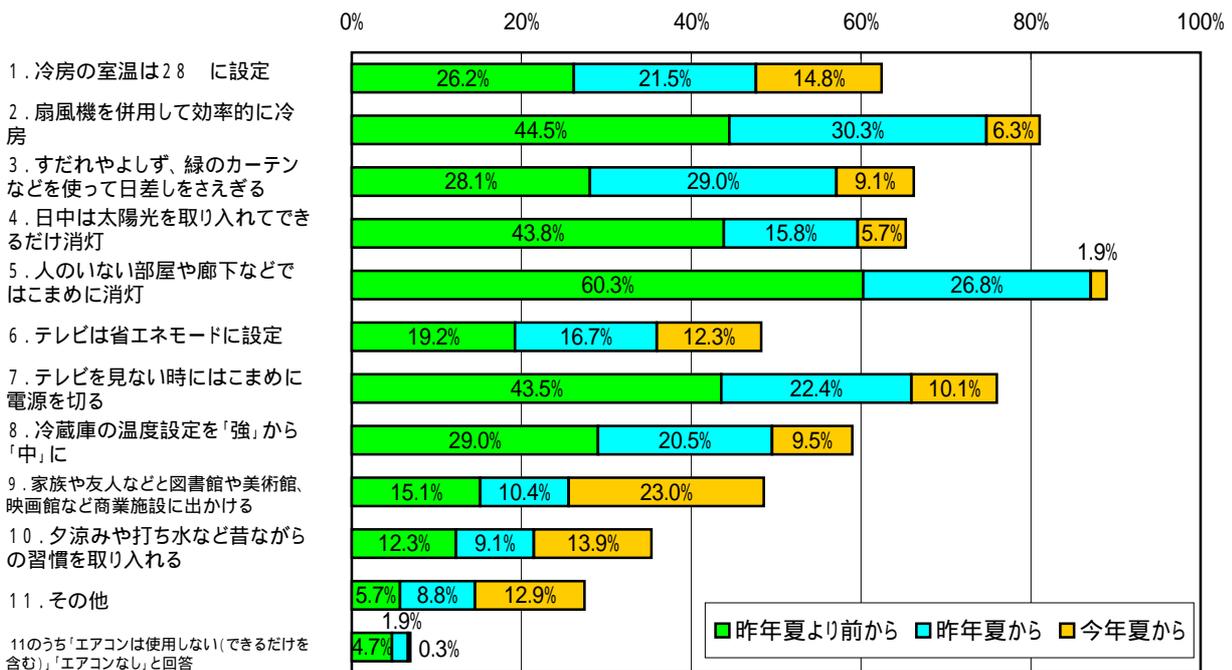
問9 あなたのご家庭で、今年の夏から始めようと思われる節電の取り組みを教えてください。

(問7～問9はいずれも回答チェックはいくつでも可)

項目	問7:習慣		問8:昨年夏から取組		問9:今年夏から取組	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1.冷房の室温は28 に設定	151	47.6%	68	21.5%	47	14.8%
2.扇風機を併用して効率的に冷房	237	74.8%	96	30.3%	20	6.3%
3.すだれやよしず、緑のカーテンなどを使って日差しをさえぎる	181	57.1%	92	29.0%	29	9.1%
4.日中は太陽光を取り入れてできるだけ消灯	189	59.6%	50	15.8%	18	5.7%
5.人のいない部屋や廊下などではこまめに消灯	276	87.1%	85	26.8%	6	1.9%
6.テレビは省エネモードに設定	114	36.0%	53	16.7%	39	12.3%
7.テレビを見ない時にはこまめに電源を切る	209	65.9%	71	22.4%	32	10.1%
8.冷蔵庫の温度設定を「強」から「中」に	157	49.5%	65	20.5%	30	9.5%
9.家族や友人などと図書館や美術館、映画館など商業施設に出かける	81	25.6%	33	10.4%	73	23.0%
10.夕涼みや打ち水など昔ながらの習慣を取り入れる	68	21.5%	29	9.1%	44	13.9%
11.その他	46	14.5%	28	8.8%	41	12.9%
11.その他を選んだ人のうち、「エアコンは使用しない(できるだけを含む)」、「エアコンなし」と回答	21	6.6%	6	1.9%	1	0.3%

11.その他で回答の多かった「エアコンは使用しない」等を項目に加えて整理した。

問7(習慣)の値から問8の値(昨年夏から取組)を引いた値を「昨年夏より前から」とし、開始した時期ごとを取組の割合を以下のグラフに示した。



次に、昨年の夏から始められた節電の取組(問8)を、昨年の夏の電気使用量の一昨年比(問5)ごとに整理したところ、昨夏からの電気使用量の増減に関わらず共通して回答割合が高かった項目は、「2. 扇風機を併用して効率的に冷房」、「3. すだれやよしず、緑のカーテンなどを使って日差しをさえぎる」、「5. 人のいない部屋や廊下などではこまめに消灯」であり、加えて昨夏からの電気使用量が「かなり減った」と答えた人については、「1. 冷房の室温は28 に設定」、「4. 日中は太陽光を取り入れてできるだけ消灯」、「6. テレビは省エネモードに設定」の回答割合が高かった。

問8: 昨年の夏から始められた節電の取組						
問5: 昨夏の電気使用量の一昨年比	かなり減った(10%以上): 41人		少し減った(5%程度): 150人		ほぼ同じ: 108人	
項目	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 冷房の室温は28 に設定	15	36.6%	37	24.7%	13	12.0%
2. 扇風機を併用して効率的に冷房	13	31.7%	56	37.3%	25	23.1%
3. すだれやよしず、緑のカーテンなどを使って日差しをさえぎる	15	36.6%	50	33.3%	25	23.1%
4. 日中は太陽光を取り入れてできるだけ消灯	13	31.7%	24	16.0%	13	12.0%
5. 人のいない部屋や廊下などではこまめに消灯	13	31.7%	49	32.7%	22	20.4%
6. テレビは省エネモードに設定	13	31.7%	29	19.3%	10	9.3%
7. テレビを見ない時にはこまめに電源を切る	10	24.4%	41	27.3%	19	17.6%
8. 冷蔵庫の温度設定を「強」から「中」に	12	29.3%	39	26.0%	14	13.0%
9. 家族や友人などと図書館や美術館、映画館など商業施設に出かける	7	17.1%	21	14.0%	5	4.6%
10. 夕涼みや打ち水など昔ながらの習慣を取り入れる	6	14.6%	16	10.7%	7	6.5%

また、問7～問9の「その他」の主な回答は以下のとおり。

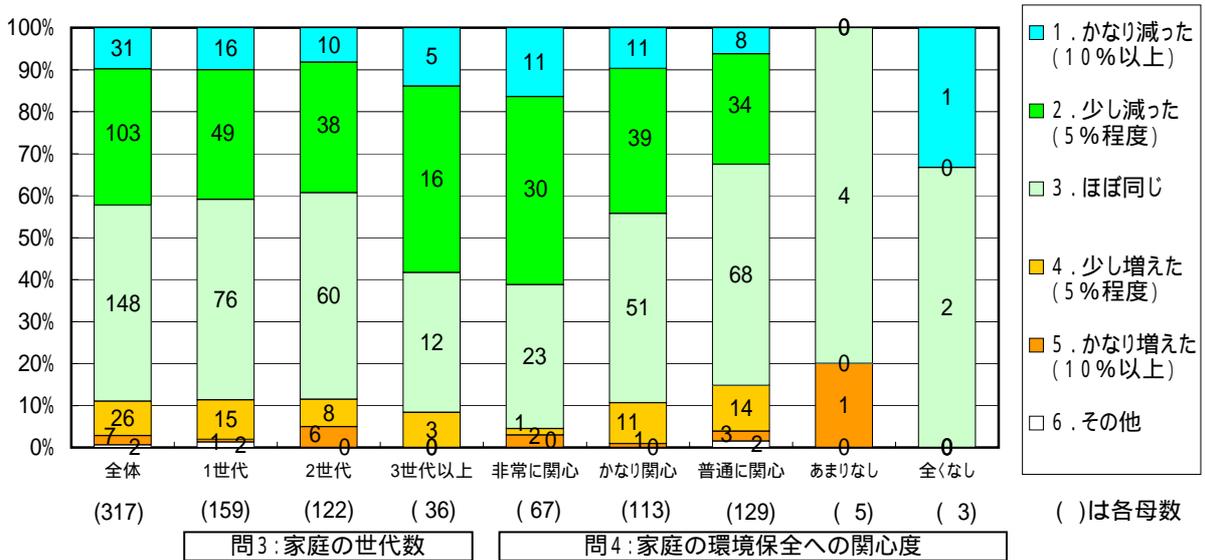
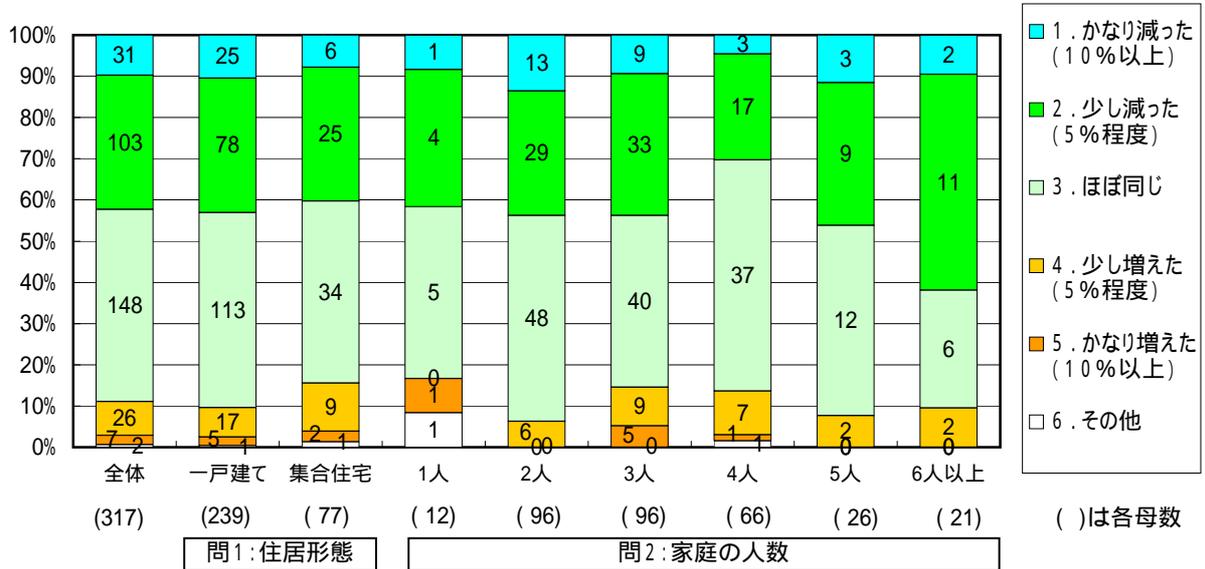
問7: 習慣	問8: 昨年からの取組	問9: 今年からの取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷却枕を首筋にあてる、氷枕にして寝るなど活用</li> <li>・涼感衣料</li> <li>・ごはんは朝5時に炊く、保温調理鍋を使う</li> <li>・冷蔵庫の開閉を減らす</li> <li>・常時コンセントを入れている電気ポットの使用をやめる</li> <li>・早寝、早起きでエネルギー全般の節電</li> <li>・使わない電気製品のコンセントを抜く</li> <li>・洗濯、炊飯はタイマーで深夜電力を利用</li> <li>・照明をLEDや蛍光灯など省電力タイプに変える</li> <li>・夜間もできるだけ照明器具の使用を制限する</li> <li>・風呂の湯量を下げる</li> <li>・夏は風呂よりシャワーを活用</li> <li>・テレビから新聞へ</li> <li>・家を工夫して建てたので夏は冷房を使用しない</li> <li>・玄関ドアに網戸を設置して空気を流動させることでエアコンの稼働ゼロ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステテコを使用</li> <li>・寝具に竹マット、アイスマットを使用</li> <li>・冷蔵庫に専用シートを張り、冷気を逃がさないようにした</li> <li>・電子レンジのコンセントにスイッチを付けた</li> <li>・待機電力を減らすために一部コンセントを抜いている</li> <li>・照明をLEDや蛍光灯など省電力タイプに変えた</li> <li>・タイマーや充電の家電製品を徐々に購入</li> <li>・夜間もできるだけ照明器具の使用を制限する</li> <li>・居室、寝室、客室を二重窓に施工</li> <li>・エアコンはほとんど使わない</li> <li>・日中は遮光カーテン等で太陽光を取り入れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷蔵庫にカーテンを張る、ものを入れすぎない</li> <li>・家事は夜にこなす</li> <li>・ウォシュレットの暖房便座の未使用時は電源を常に切る</li> <li>・照明をLEDに変える</li> <li>・窓に遮光グッズを取り付ける</li> <li>・窓を二重窓にする</li> <li>・太陽光発電導入により家庭の消費電力を管理</li> <li>・早寝早起き</li> <li>・家族で一つの部屋に集まる</li> <li>・風呂は家族で間をおかずに順に入る</li> <li>・日中はモールや公共施設で過ごすようにする</li> <li>・ミスト噴霧器で外気環境をクールダウン</li> <li>・客がみえない限りエアコンを使用しない</li> <li>・できるだけエアコンは使用せず、体温調節機能を高めるよう工夫、努力を進める</li> </ul>

問10 一昨年の冬に比べて、昨年の冬の電気の使用量はどの程度でしたか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. かなり減った(10%以上)	31	9.8%
2. 少し減った(5%程度)	103	32.5%
3. ほぼ同じ	148	46.7%
4. 少し増えた(5%程度)	26	8.2%
5. かなり増えた(10%以上)	7	2.2%
6. その他	2	0.6%
合計	317	100.0%

社員寮のため個別に比較できない、比較していない

問10を問1~4の項目ごとに比較したところ、家庭の人数では、「6人以上」、家庭の世代数では「3世代以上」、家庭の環境保全への関心度では「非常に関心がある」で、全体に比べて使用量が減ったという回答割合が高かった。

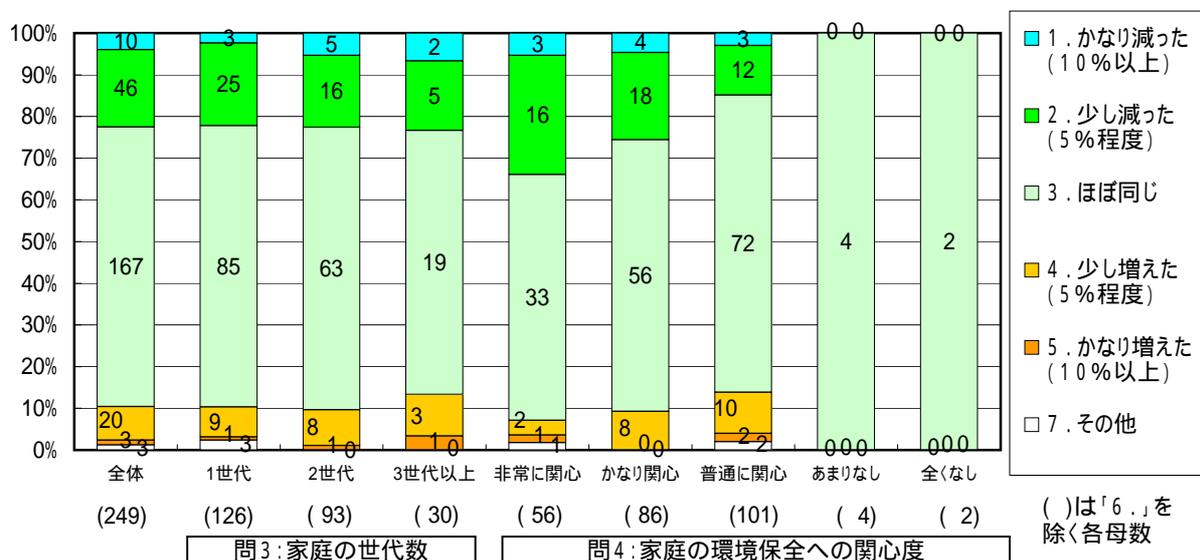
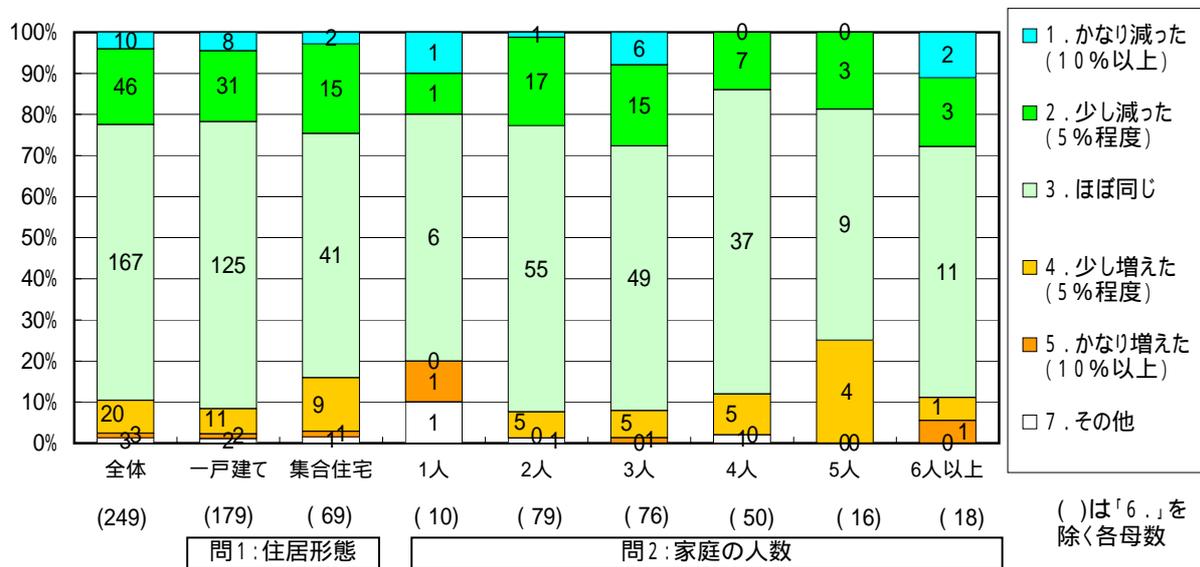


問11 一昨年の冬に比べて、昨年の冬のガスの使用量はどの程度でしたか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. かなり減った(10%以上)	10	3.2%
2. 少し減った(5%程度)	46	14.5%
3. ほぼ同じ	167	52.7%
4. 少し増えた(5%程度)	20	6.3%
5. かなり増えた(10%以上)	3	0.9%
6. ガスは使用していない(オール電化)	68	21.5%
7. その他	3	0.9%
合計	317	100.0%

ガスは使っていない、社員寮のため個別に比較できない、比較していないなど

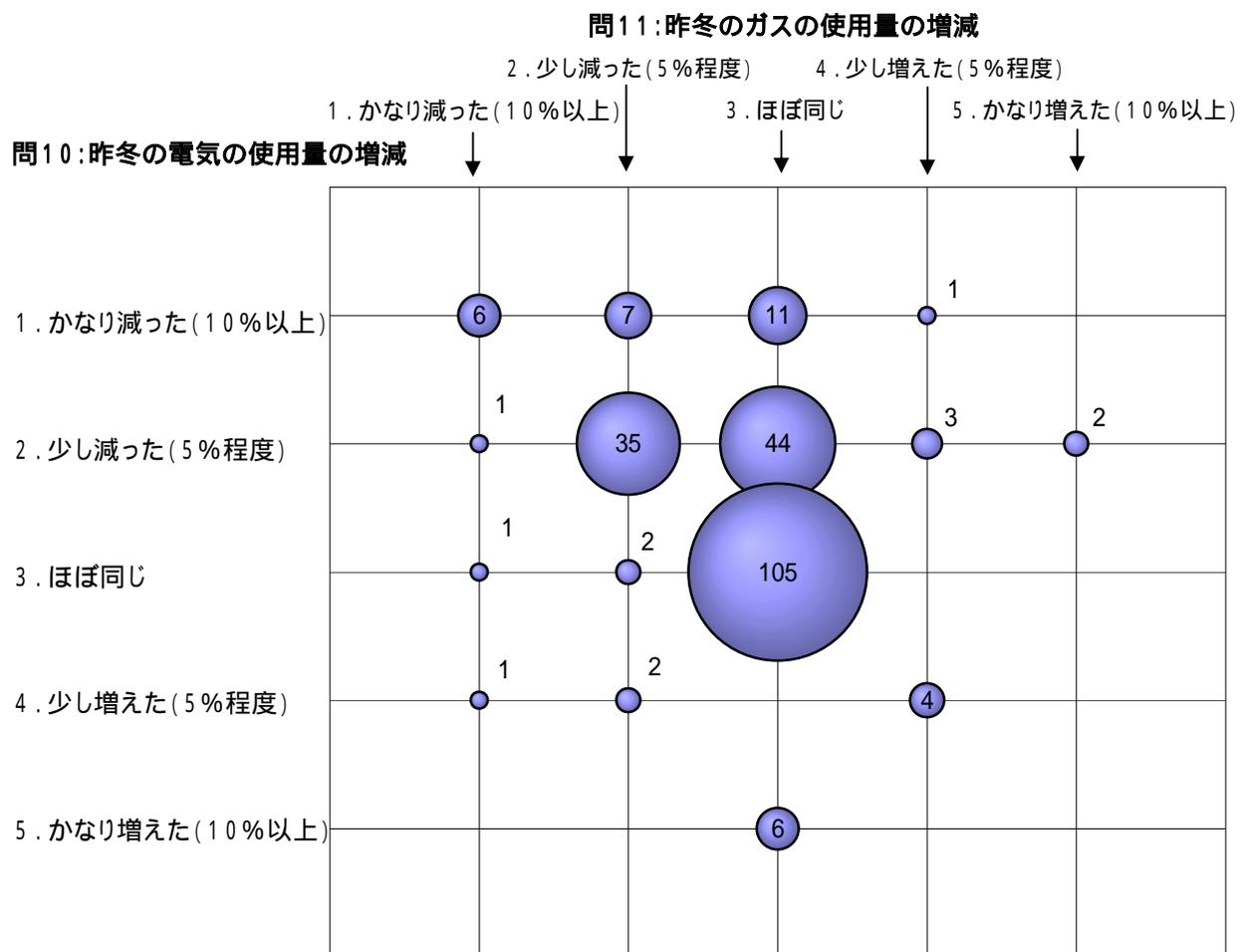
問11を問1～4の項目ごとに、「6. ガスは使用していない(オール電化)」の回答者を除き比較したところ、住居形態では「集合住宅」、家庭の人数では「3人」、「6人以上」、家庭の環境保全への関心度では「非常に関心がある」、「かなり関心がある」で、全体に比べて使用量が減ったという回答割合が高かった。なお、家庭の世代数ではどの世代数も全体とほぼ同じ回答割合であった。



また、昨冬の電気の使用量の増減(問10)とガスの使用量の増減(問11)を整理したところ、夏と同様に、電気の使用量もガスの使用量も減っているか、電気の使用量が減ってもガスの使用量はほぼ同じであった。

(人)

一昨年の冬と比べた昨年冬の電気とガス の使用量の増減の関係		問11:ガスの使用量の増減				
		1.かなり 減った(10% 以上)	2.少し減っ た(5%程度)	3.ほぼ同じ	4.少し増え た(5%程度)	5.かなり増 えた(10% 以上)
問10:電気 の使用量の 増減	1.かなり減った(10%以上)	6	7	11	1	
	2.少し減った(5%程度)	1	35	44	3	2
	3.ほぼ同じ	1	2	105	4	
	4.少し増えた(5%程度)	1	2	6	12	
	5.かなり増えた(10%以上)	1	0	1	0	1

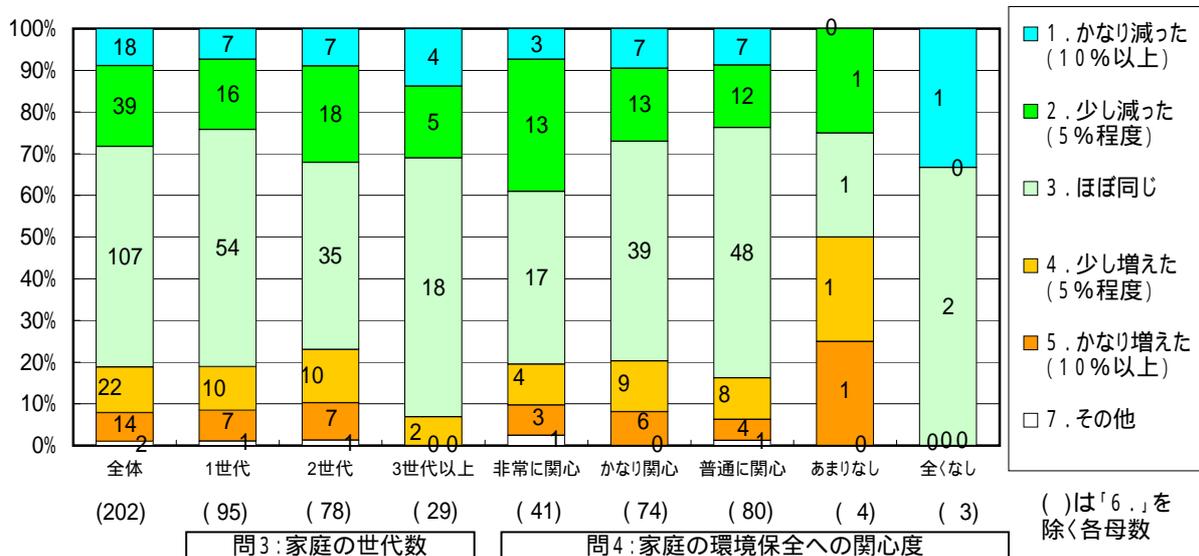
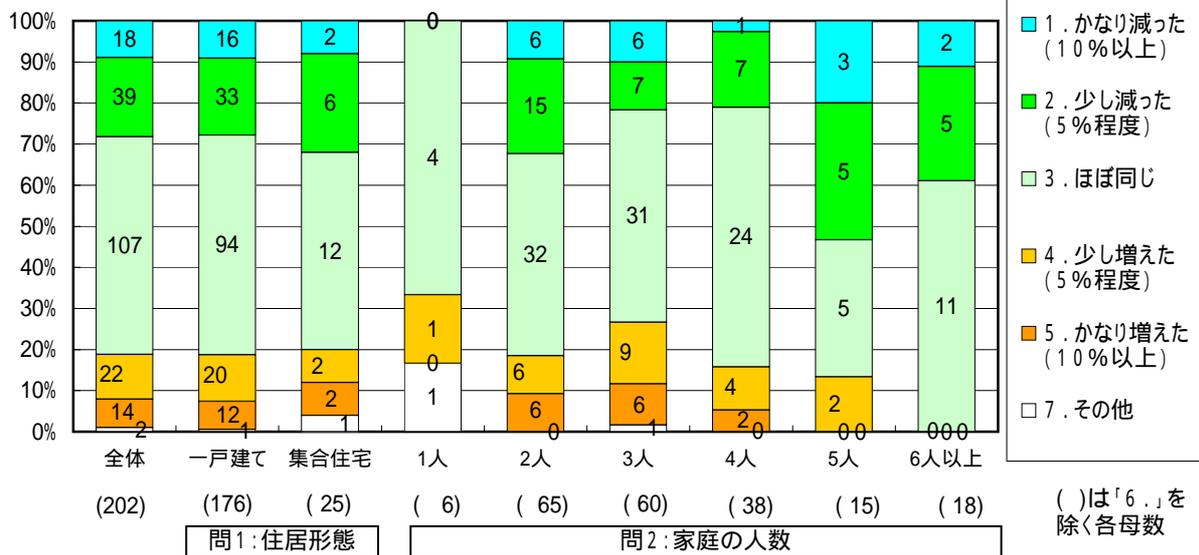


問12 一昨年の冬に比べて、昨年の冬の灯油の使用量はどの程度でしたか。(回答チェックは1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
1. かなり減った(10%以上)	18	5.7%
2. 少し減った(5%程度)	39	12.3%
3. ほぼ同じ	107	33.8%
4. 少し増えた(5%程度)	22	6.9%
5. かなり増えた(10%以上)	14	4.4%
6. 灯油は使用していない	115	36.3%
7. その他	2	0.6%
合計	317	100.0%

社員寮のため個別に比較できないなど

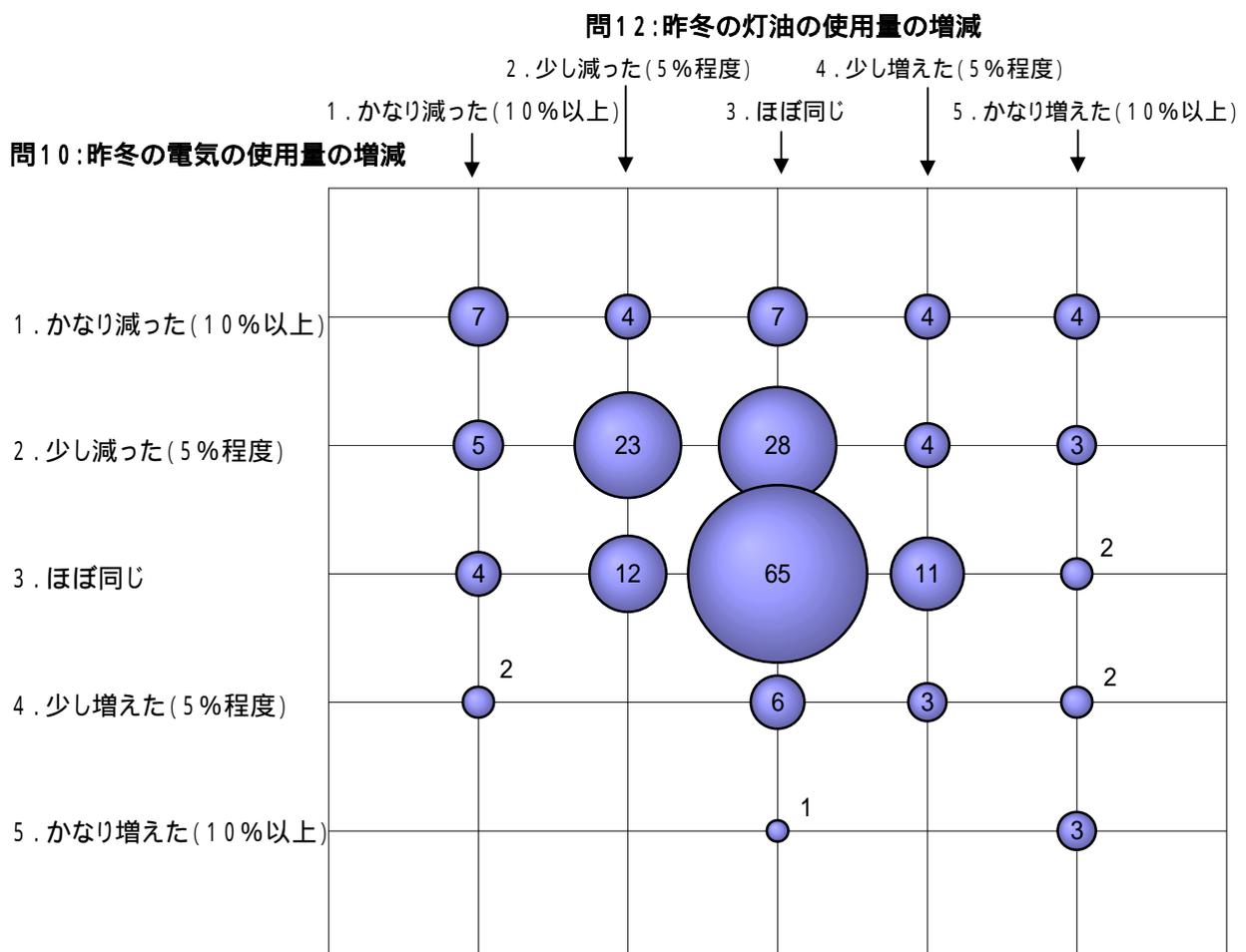
問12を問1~4の項目ごとに、「6. 灯油は使用していない」の回答者を除き比較したところ、家庭の人数で「5人」、「6人以上」、家庭の環境保全への関心度では「非常に関心がある」で、全体に比べて使用量が減ったという回答割合が高かった。なお、住居形態では全体とほぼ同じ回答割合であったが、家庭の世代数の「3世代以上」で使用量が増えたという回答割合が少なかった。



また、昨冬の電気の使用量の増減(問10)と灯油の使用量の増減(問12)を整理したところ、電気の使用量も灯油の使用量も減っているか、電気の使用量が減っても灯油の使用量はほぼ同じであったが、電気の使用量とガスの使用量の増減の関係に比べ、灯油の使用量が増えているという回答割合が高かった。

(人)

一昨年の冬と比べた昨年冬の電気と灯油の使用量の増減の関係		問12:灯油の使用量の増減				
		1. かなり減った(10%以上)	2. 少し減った(5%程度)	3. ほぼ同じ	4. 少し増えた(5%程度)	5. かなり増えた(10%以上)
問10:電気の使用量の増減	1. かなり減った(10%以上)	7	4	7	4	4
	2. 少し減った(5%程度)	5	23	28	4	3
	3. ほぼ同じ	4	12	65	11	2
	4. 少し増えた(5%程度)	2	0	6	3	2
	5. かなり増えた(10%以上)	0	0	1	0	3



問13 あなたのご家庭では、冬にどのような節電の取り組みが習慣になっていますか。

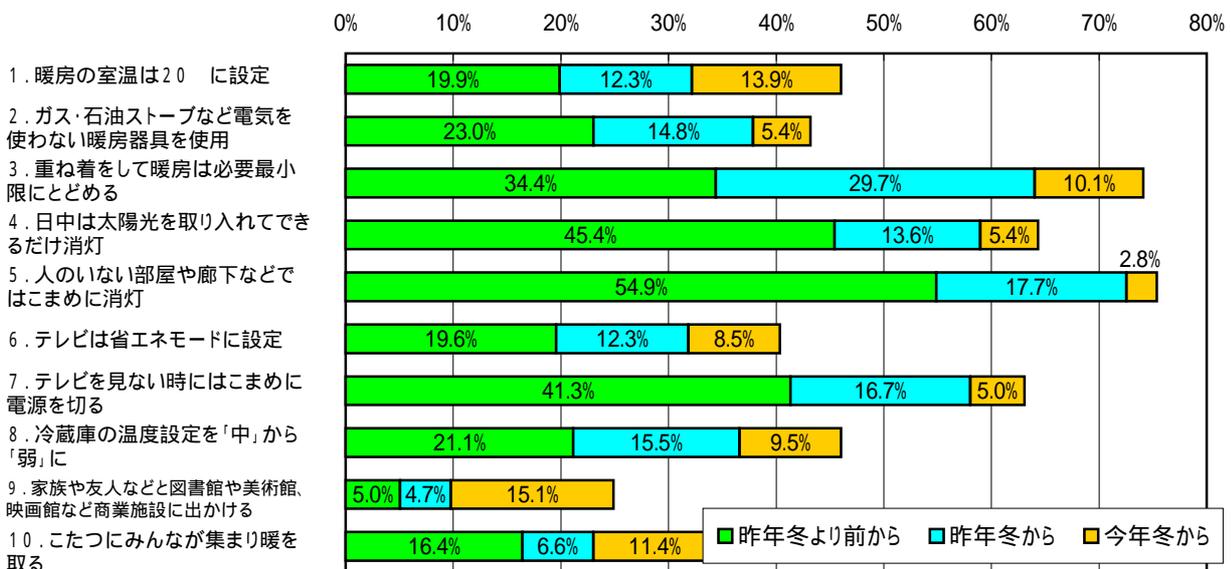
問14 問13の回答のうち、あなたのご家庭で、昨年の冬から始められた節電の取り組みを教えてください。

問15 あなたのご家庭で、今年の冬から始めようと思われる節電の取り組みを教えてください。

(問13～問15はいずれも回答チェックはいくつでも可)

項目	問13:習慣		問14:昨年冬から取組		問15:今年冬から取組	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 暖房の室温は20 に設定	102	32.2%	39	12.3%	44	13.9%
2. ガス・石油ストーブなど電気を使わない暖房器具を使用	120	37.9%	47	14.8%	17	5.4%
3. 重ね着をして暖房は必要最小限にとどめる	203	64.0%	94	29.7%	32	10.1%
4. 日中は太陽光を取り入れてできるだけ消灯	187	59.0%	43	13.6%	17	5.4%
5. 人のいない部屋や廊下などではこまめに消灯	230	72.6%	56	17.7%	9	2.8%
6. テレビは省エネモードに設定	101	31.9%	39	12.3%	27	8.5%
7. テレビを見ない時にはこまめに電源を切る	184	58.0%	53	16.7%	16	5.0%
8. 冷蔵庫の温度設定を「中」から「弱」に	116	36.6%	49	15.5%	30	9.5%
9. 家族や友人などと図書館や美術館、映画館など商業施設に出かける	31	9.8%	15	4.7%	48	15.1%
10. こたつにみんなが集まり暖を取る	73	23.0%	21	6.6%	36	11.4%
11. その他	25	7.9%	27	8.5%	27	8.5%

問13(習慣)の値から問14の値(昨年冬から取組)を引いた値を「昨年冬より前から」とし、開始した時期ごとに取組の割合を以下のグラフに示した。



次に、昨年の冬から始められた節電の取組(問14)を昨年の冬の電気使用量の一昨年比(問10)ごとに整理したところ、昨冬からの電気使用量の増減にかかわらず共通して回答割合が高かった項目は、「3.重ね着をして暖房は必要最小限にとどめる」であり、加えて昨冬からの電気使用量が「少し減った」と答えた人については、「2.ガス・石油ストーブなど電気を使わない暖房器具を使用」、「5.人のいない部屋や廊下などではこまめに消灯」、さらに昨冬からの電気使用量が「かなり減った」と答えた人については、「1.暖房の室温は20 に設定」、「4.日中は太陽光を取り入れてできるだけ消灯」、「6.テレビは省エネモードに設定」、「7.テレビを見ないときはこまめ

問14:昨年の冬から始められた節電の取組						
問10:昨冬の電気使用量の一昨年比	かなり減った(10%以上):31人		少し減った(5%程度):103人		ほぼ同じ:148人	
項目	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1.暖房の室温は20 に設定	10	32.3%	11	10.7%	13	8.8%
2.ガス・石油ストーブなど電気を使わない暖房器具を使用	8	25.8%	19	18.4%	17	11.5%
3.重ね着をして暖房は必要最小限にとどめる	15	48.4%	32	31.1%	41	27.7%
4.日中は太陽光を取り入れてできるだけ消灯	8	25.8%	13	12.6%	18	12.2%
5.人のいない部屋や廊下などではこまめに消灯	10	32.3%	20	19.4%	21	14.2%
6.テレビは省エネモードに設定	12	38.7%	13	12.6%	9	6.1%
7.テレビを見ない時にはこまめに電源を切る	14	45.2%	18	17.5%	17	11.5%
8.冷蔵庫の温度設定を「中」から「弱」に	10	32.3%	18	17.5%	18	12.2%
9.家族や友人などと図書館や美術館、映画館など商業施設に出かける	4	12.9%	5	4.9%	5	3.4%
10.こたつにみんなが集まり暖を取る	4	12.9%	7	6.8%	6	4.1%

また、問13～問15の「その他」の主な回答は以下のとおり。

問13:習慣	問14:昨年からの取組	問15:今年からの取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・着る毛布など厚着で対応</li> <li>・ひざかけ、マフラー、肩かけの3点セット</li> <li>・エアコンは使用しない</li> <li>・こたつの代わりに毛布と湯たんぽを使用</li> <li>・できるだけ同じ部屋で暖を取る</li> <li>・布団を羽毛ふとんに替えた</li> <li>・日当たりが良いので暖房を極力つけない</li> <li>・元電源から消す</li> <li>・出かける時は早い目に暖房を切り余熱で過ごす</li> <li>・石油ストーブの設定温度は18 にする</li> <li>・早寝、早起きでエネルギー全般の節電</li> <li>・暖房に豆炭を使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着る毛布など厚着で対応</li> <li>・ひざかけ、マフラー、肩かけの3点セット</li> <li>・エアコンは使用しない</li> <li>・オイルヒーターは使用しない</li> <li>・布団を羽毛ふとんに替えた</li> <li>・こたつの代わりに毛布と湯たんぽを使用</li> <li>・床に敷物</li> <li>・断熱シートの利用</li> <li>・石油ストーブで煮炊き料理</li> <li>・保温力を使って調理</li> <li>・元電源から消す</li> <li>・石油ストーブの設定温度は18 にする</li> <li>・家族で続けて入浴</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徐々にLEDに変える</li> <li>・1部屋で暖をとる</li> <li>・家族で続けて入浴</li> <li>・ホットカーベットは使わない</li> <li>・居間に毛布を配置</li> <li>・暖かい素材のスリッパを使用</li> <li>・湯たんぽを利用</li> <li>・断熱フィルムを貼り付け</li> <li>・早寝、早起きを心がける</li> </ul>

問16 その他、節電の取り組みへの支援策、普及啓発策についてご意見がありましたらお聞かせください。  
(400字以内)

(支援策、普及啓発策、その他節電対策への提案等について主なものをとりまとめ)

(支援策)

- 電気使用量が刻々と表示されるモニター、太陽光発電、家庭用コージェネシステムなどへの補助金。  
古いエアコンは効率が悪いことなどから、消費電力の少ない家電への買い替えへの補助金。
- 夏や冬は支所や公民館などをもっと積極的に開放して子供が遊べる場所にする。また、長期に滞在できるよう椅子や机の備品を充実する。公共施設までの公共交通機関を設置する。
- 公共施設でのイベント、プールや美術館の情報など夏にお出かけできる情報誌。  
公共施設への訪問者に在所時間に応じたポイントで買い物や食事の金券として使用できるようにする。
- 節電量に応じて商品券などの商品のプレゼントやポイント還元するような企画を。
- 使用時間帯による使用料の格差を設定し、複数の料金設定の中での選択方式を導入する。
- 平日を会社の休日にする支援金がでる制度や工場をとめると補助金を出すなど視点を変えた取り組み。  
マンションの共用部分の節電効果がわかる器具を管理組合に提供する。

(普及啓発策)

- 太陽熱など自然エネルギー利用のコストメリットを示して需要を喚起する。
- オール電化は節電の観点からどうなっているのかをメーカーまかせにせず丁寧に説明する。
- 夏に打ち水をしているところを近所でも見かけないので広報などで呼びかける。
- 定量的な提案をポスター、テレビなどでPRする。  
具体的に人数当たりなど各家族でどの程度の節電が必要か、一般市民にわかりやすい例で提示する。  
地域性、オール電化や電気ガス併用などの違いを組み入れた使用目安数値を示して目標を持ってもらう。  
「滋賀+1」などいろいろな媒体で小さなアイデアでもよいから節電の方法を周知する。  
「節電で、示そう滋賀(近江)の人の心意気、安全に自然と暮らしを守るため」など標語を掲げてできるだけ大きな節電を目指す。
- 原発を停止させた場合の本当の不足分を開示して、節電量を明示して県民に問う。
- 節電の取り組みをコミュニティレベルで共有し、そこから広げていくことが必要。また、学校レベルでも生活の知恵として授業を行えば、家族間での会話や考える機会ができる。
- 住宅の周りのコンクリート打ちは避け、芝生の植え込みを促進支援する。
- 今までにないレベルでの一斉消灯を行い、多くの人とその時間を共有し、考える状態が必要。  
大人のように手抜きをしない小学生の力を借り、家庭の状況を調べ、実行に結びつける。  
学校でも家電の使用ワットや節電方法をゲーム形式で教える。  
冷蔵庫やテレビの省エネ設定をわかりやすく教える。

(節電対策の提案等)

- テレビの代わりにラジオを活用する。テレビの放映時間を短縮する。
- オフィスビル、学校、商業施設など電力使用の大きいと思われるところでの節電対策。  
節電の取り組みは一過性ではなく、中長期に取り組んでこそ成果があると思われるので、エネルギー政策の中長期ビジョンを国、県が示し、計画性があり、具体策を紹介するなど実効性のある節電計画が望まれる。  
原子力発電に頼らないエネルギー政策を掲げて実現する。  
夏冬だけの節電だけでなく、普段から節電意識を持って取り組むべきである。  
企業は社内で節電に力をいれており、家庭でもあたりまえになってほしい。